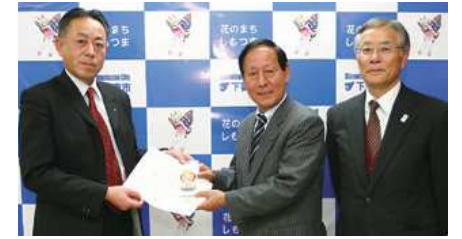


常陽銀行下妻支店から新小学1年生に「防犯ブザー」が寄贈されました

4月4日、常陽銀行下妻支店から市内10小学校の新1年生全員に、毎日安心して登下校ができるようにと、子犬をかたどったLEDライト付きの防犯ブザー450個が寄贈されました。

稲葉市長は「この防犯ブザーで、子どもたちを守ることができる。9年間も続けて寄贈いただき心から感謝します。地域で子どもたちを見守る取り組みもさらに強めていきたい」。秋野哲也支店長からは「地域の安心・安全の一助となればありがたい。この防犯ブザーが使われないこと（＝事故などがないこと）をお祈りしています」と話がありました。

温かい善意ありがとうございました。



秋野支店長(左)から稲葉市長(中)、青柳教育長(右)に手渡されました

株式会社倉持薬局との災害時における救援物資提供に関する協定の締結

3月29日、株式会社倉持薬局と災害時における救援物資提供に関する協定を締結しました。

協定は、災害発生時に重要となる医薬品を中心に、女性用品、乳児用粉ミルクなどを含む生活物資が市の流通在庫として提供を受けられるもので、主に医薬品を取り扱う企業からの支援は市では初めてとなります。

倉持茂通社長は「東日本大震災の時には店舗も被災し、生活物資の買占めなどにより、必要とされる場所に物資が行き渡らないことがあった。市と協力することで物資の優先を整理し、地域の方々安心して暮らしていただける環境の一助となればありがたい」と話していました。



協定書を取り交わした倉持社長(左)と稲葉市長(右)

市民協働のまちづくり

市民みんなで、魅力ある市民協働のまちづくり 知っていますか？近所さんー地域の連携ー

私たちはこれまで、社会の進展や物の豊かさを求めて、懸命に働き、生活を豊かにしてきました。

しかしその一方で、核家族化や個人主義を求めることにより、地域でのつながりが弱まり、近隣の無関心が進んでいます。地域社会においては、人々の集う場所や機会が減少し、互いに支え合おうとする意識が弱まるなど、人間関係が希薄化してきています。このような無関心さは、地域での活動の低下や地域コミュニティの衰退という大きな問題にも発展してきます。

災害が起きた時、規模が大きくなればなるほど、行政の対応力は小さくなります。そこで、頼りになるのが顔見知りの隣近所の存在です。普段から隣近所で交流があれば、何かあった時に助け合うことができます。そして、お互いに信頼関係や絆が生まれ、連携が図られます。連携が図られることにより、地域でのコミュニティが高まり、防災や防犯などの緊急時にスムーズに対応できる地域となることができます。

人と人がつながり、連携していれば、地域の問題や課題にみんなが目を向けるようになり、「自分たちがこのまちで解決していこう」という意識が生まれ、地域の活性化につながると考えられます。

これからは、豊かで安心安全、そして「みんなが幸せ」と感じる地域社会を創るためにも、現代において失われつつある人や地域のつながりを復活させ、連携を図っていくことが重要です。

みなさんも、自分たちの暮らしにおいて、隣近所の関係をもう一度見直してみましょ。



地域住民が連携して行うパケツリで消火訓練

問い合わせ
市民協働課 内線1313



下妻市立図書館 ☎43-8811
●貸出時間 平日：午前10時～午後7時
土・日・祝：午前9時～午後5時
※6月16日(日)から6月30日(日)は、特別整理期間のため休館します。

6月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土	日
							1
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30							

■休館日

図書館は本だけじゃない CD・DVD・VHSビデオも借りられます

図書館にあるのは、本だけと思いませんか？図書館には、CD・DVD・VHSビデオの視聴覚資料もあり、本と同様に借りることができます。

館内のCD・DVD・VHSビデオ

CDは3,510枚で、クラシック・洋楽・邦楽（ロック・演歌・童謡）もあり、VHSビデオは2,241本、DVDは1,433枚で、洋画・邦画・趣味・実用版までそろっています。館内の機器を利用して視聴することもできますので、是非ご利用ください。

種類も豊富なDVDコーナー



映画上映会

所蔵のDVDを利用した大人向け映画会「ライブラリーシアター」（毎月第3火曜日・土曜日：午後2時から）と「子ども映画会」（毎月第4土曜日：午後2時から）が人気を集めています。

子ども映画会の参加者から



映像ホールで友達と映画を楽しみました（夏澄ちゃん：右から2番目）

4月13日、子ども映画会では「忍たま乱太郎」（実写版）が上映され、会場からは子ども達のにぎやかな笑い声が絶えませんでした。

「図書館は広くて、画面が大きくてよかった。また来たいです」と山夏澄ちゃん（6歳）が笑顔で話してくれました。

寄附者の皆さんのメッセージ

- ▶茨城出身ですが、他県の人には存在感が薄いので、茨城の農産物をもっとアピールしてください。
- ▶生きる喜びを感じられる街になるといいですね。魅力ある街づくり、お願いします。
- ▶生まれ育った故郷が、発展し続けるように願っています。
- ▶教育と防災は、地方行政の要です。郷土愛の持てる子ども達の育成に役立ててください。
- ▶毎年のことながら、第二のふるさと下妻が誰にも優しく住みやすい街でありますよう、小願ですが、お役に立てていただければと願っています。
- ▶下妻第一高等学校卒業生です。現在は都内で独立して仕事をしています。自分の原点である高校時代を過ごした下妻市に、ふるさと納税制度でささやかながらご恩返しさせていただきます。

ふるさとに対して「貢献したい」「力になりたい」。そんな想いを「寄附金」の形にして応援していただく制度です。寄附していただいた額に応じて、所得税及び住民税が軽減されます。

平成24年度には、全国の皆さん45名の方から、総額491万5千円の寄附金をいただきました。寄附された方の中で、お名前公表に承諾された方のみをご紹介します。

齋藤 廣太様（東京都足立区）
柳澤 雅子様（東京都北区）
松山 年男様（神奈川県横浜市）
江連 成雄様（神奈川県川崎市）
遠藤 益夫様（東京都八王子市）

いただいた寄附金については、市勢発展のために大切に活用してまいります。引き続き、ふるさと下妻への応援をよろしくお願いたします。

○問い合わせ 市長公室（政策企画係）
内線1216

市外にお住まいの方へ
ふるさと下妻寄附（ふるさと納税制度）のご案内

下妻市のまちづくりを応援してください